

2009年7月1日  
26号

# かけはし

水戸総合病院広報誌

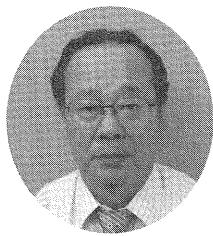
発行所 株式会社水戸総合病院  
〒312-0057  
ひたちなか市石川町20番1  
TEL 029(272)5111  
発行人 飯嶋和秀  
編集 広報委員会  
URL:<http://www.hitachi.co.jp/hospital/mito/>

【水戸総合病院理念】

説明責任を基本とした最新の技術と最良のサービスの提供により患者さまの満足される医療を遂行する

【水戸総合病院基本方針】

「地域の皆様の信頼と満足が私たちの生きがいです」のもとに、①急性期医療に重点を置いた地域完結型医療の実施、②最新の医療技術の確立、③説明責任を実施することによる最良のサービスの遂行を実践する



## 院長挨拶

院長 永井庸次

連日の梅雨空の中、皆様方には健やかにお過ごしでしょうか。昨年度本社の大幅な赤字決算もありましたが、当院の新病院棟工事は雨中無事故で順調に進んでおりますことをまずはご報告させていただきます。現在2階から3階部分の工事に至っており、本社、日立および地区内事業所はもちろん、市、県、国の災害拠点、がん拠点、救急・感染症対策などに対する有形、無形のサポートに関し、この場を借りて厚く御礼申し上げる次第です。

がん診療については既に、県からがん診療指定病院の指定を頂いており、移転後には災害拠点病院の認可を受ける予定です。放射線治療棟稼動の目処も立ち、新築後は高精度放射線治療の他、術中・術後の集中治療、がん化学療法、緩和ケアが大幅に改善されますので、地域の皆様方の今後のご健康に少しでも貢献できますことを職員一同喜んでおります。

工事が順調に推移すれば、来年5月中旬に建屋引渡し、6月末引越し、7月初旬竣工オープンの予定ですので、引き続きのご愛顧の程、よろしくお願い致します。

また、建屋の建設以外に業務フローの見直しも図っております。現在一部しか活用出来ていないオーダリングシステムに関しては、電子カルテを加えた医療情報システムを来年1月には現病院で事前稼動し（設備・スペースの問題から全面稼動とはいきませんが）、そのシステムを新病院では全面稼動する計画になっております。この結果、カルテの一元化、情報の共有化、安全対策の充実

などが可能となり、ご指摘の多かった待ち時間も大幅に短縮される予定です。なお、竣工に向け、看護師、リハビリ職員、医師の充実を本年度から図っておりますので、電子カルテの早期導入も含め、ご期待頂ければと思っております。

急性期、さらには急性期を過ぎたりリハビリ、療養期の医療の流れという、この地域の「包括的な医療提供の枠組み」に関しては、急性期→回復期リハビリ→在宅または病院転院という流れを医師会の皆様方の施設機能との十分な連携の強化によって構築できればと考えております。新病院の病床は215→288床と増加しますが500床を越えるものではなく、一部の診療科の新設・再開や個室の大幅増、回復期リハビリ・重症病棟の新設・充実などはありますが、すべての医療を当院だけで提供できることは難しいと考えており、今まで以上に市内・水戸地区の諸施設との連携が不可欠であると私は確信しております。

最後に、安全・安心の医療を皆様方に提供することが私どもの使命です。この間、地域の、特に県北の医療崩壊などが騒がれていますが、私は、当院がリニューアルを契機にする・しないは別にして、職員の充実による技術力アップなどによる良質な医療の提供が、医療の質向上、さらには医療崩壊の防止につながり、ひいては「地域を護る」ことができると思っております。そのためには、単に設備面を改善するだけではなく、再度、原点に立ち返り、医師、看護師を始めとした医療職がその技術を効果的・効率的に皆様方に提供できるような体制の構築と、個々の医療職のより一層の技術の向上に取り組んでいきたいと考えております。何を今さらとお考えの患者様、家族の皆様方が多数いらっしゃるとは思いますが、私どももより一層努力したいと思いますし、その努力が報われる体制を作っていく所存ですので、今後ともよろしくお願ひいたします。

## ISO9001の審査が行われました

ISO事務局 高橋 弘次

当院は、患者さまサービスの向上を目的に、2001年5月にISO9001:2000年版を取得しました。

ISO9001は、質（品質）保証の国際規格で、企業が提供する製品やサービスを作り込む管理手順を、ISOの規定に沿って定めることを要求しており、認証取得は製造業から始まりましたが、現在ではサービス業を含むあらゆる業種に拡大しています。

審査では、ISOの要求事項に沿って作成された基準があるか、その基準通りに業務が行われているか、その記録があるか、又、設定した品質目標が継続的に改善されているか、等が確認されます。

審査は毎年行われますが、今回は5月11日～14日に(財)日本品質保証機構の審査員2名が来院し行われました。

審査は、院長面談、品質管理責任者面談から始まり、

### 感染症予防のために

～手洗い、うがい、マスクは何故必要か～

感染管理認定看護師 根本 広子

インフルエンザ等の感染症を防ぐ対策は、①手洗い②うがい③マスクの着用と言われていますが、何故このような対策が必要なのでしょうか。

#### ①手洗い

ウイルスが付着した手で目、鼻、口等に触れることで感染します。この場合、手を洗うことでウイルスを減らし、手からの感染を防ぎます。

#### ②うがい

ウイルスはノドの粘膜に付着します。うがいをすることで、ノドの粘膜に付着したウイルスを排除します。

#### ③マスクの着用

咳やくしゃみとともに放出されたウイルスを吸い込むことで感染します。咳の出る人がマスクをすることでウイルスの放出を抑えます。また、マスクをすることでウイルスを吸い込むのを防ぎ、感染予防となります。新型インフルエンザが未だ猛威を振るっておりますが、これらの対策を行って感染を未然に防ぎましょう。また、万が一感染してしまった時には、迅速にマスクを着用して周囲への感染拡大防止に努めましょう。

## 採用医師の紹介

担当科	氏名	異動日
臨床研修医	永嶺 翔	採用(2009.7/1)
	菅野 奈緒	採用(2009.7/1)

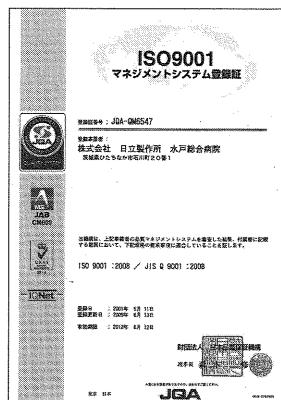
医師部門、看護部門（外来、入院）、検査等の各医療部門、事務部門、健診センター部門のほぼ全部門に亘り実施されました。

又、今回は規格が2008年版に改訂され、品質目標の成果（達成度）についてもより厳しく審査されました。

各部門では、書面による審査に引き続き、各職場での実地審査が行われました。

審査結果としては、是正処置を必要とする不適合ではなく、改善要望として14件の指摘がありました。各部門、関連委員会で改善に取組んでおります。

今後もより充実したサービスを患者さまに提供していくよう、職員一丸となり努力して参りますので、宜しくお願い申し上げます。



## 《メタボ解消のためのダイエットプログラムのご案内》

保健師 青木 章子

水戸病院総合健診センターでは、人間ドック・特定健診等を受けていただいた方を対象に、ダイエットプログラムをご用意しております。メタボリックシンドロームの改善を目指して、この機会にダイエットに挑戦してみませんか？積極的な参加をお待ちしています。

＜準備いただくもの＞（共通）

①デジタル体重計 ②歩数計 ③メジャー

### 1. はらすまダイエット

（特定保健指導契約健保に所属の方が対象）

このプログラムは、当センターと契約された健康保険組合に所属する方が対象で、国が推奨する「特定保健指導」に準拠しています。90日間で体重の5～7%を減らし、180日までこの体重を維持していただくための細やかな支援を実施しています。費用は、健康保険組合から補助されるため自己負担はありません。

### 2. MSP大作戦 ～メタボ・すっきり・プログラム～

ダイエットを希望する方に、どなたでも参加していただけるプログラムです。90日間で、体重の5%減を目指します。ただし、現在治療中の病気がある場合は、主治医の許可が必要です。

毎月第2土曜日9：30開始。要予約。費用：5000円  
期間中に内臓脂肪2回・3ヶ月目血液検査・ダイエット指導がついて、大変充実したプログラムです。

☆メタボリックシンドロームの改善を目指して、この機会にダイエットに挑戦してみましょう！

## 水戸総合病院・総合健診センター休日のお知らせ

2009年

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
						1		1	2	3	4	5			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	

■は休日